

波 (ウェイヴ)

ソロ・ギターの
しらべ 至上のジャズ・アレンジ篇

難易度

C

アントニオ・カルロス・ジョビンの残した ボサ・ノヴァを代表する名曲

CD
Track

14

「WAVE」 Words & Music by Antonio Carlos Jobin
© Copyright 1967 & 1968 by Corcovado Music Corp.
Rights for Japan assigned to Kogakusha Music Pub Co., Ltd.

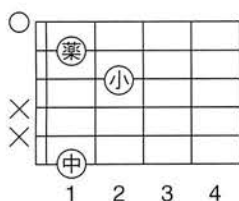
「イパネマの娘」と並ぶ、アントニオ・カルロス・ジョビンの代表曲のひとつ。ここでは、著者が学生時代によく弾いていたアレンジに多少手を加えたものを収録した。

Intro. や $\oplus$ Codaなどで多く見られるのが、Cm7～Dm7の平行移動。移動そのものがフレーズに密接に結びついており、特に $\oplus$ Codaではコード・バックングに加えて、合いの手のように単音のフレーズが入る。

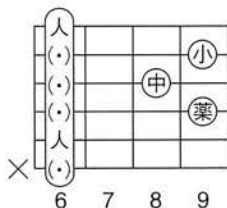
- ①ベースの下降フレーズ。私はすべて人差指で移動させながら弾いているが、3f:薬指、2f:中指、1f:人差指のように、順番に押さえてもかまわない。
- ②基本的には、左手薬指を軸にして移動する。まずA7の時点で、2弦2fを薬指で押弦。続くF Δ 7はちょっとイレギュラーな指使い(図1)で、次のA $\flat$ へは薬指をグリッサンドして移動。G7は、次のCm7に備えて3f全弦セーハで。
- ③A $\flat$ m(onE $\flat$)は、直前のE $\flat$ Δ 7のフォームを基本に、6fをセーハしている人差指以外を1f上げる形になる(図2)。
- ④5fセーハの位置で1弦8f～5fを弾き、フレーズ最後の1弦3fでセーハしたフォーム全体を3fに移動。
- ⑤3弦のグリッサ時に、5fセーハから3fセーハにフォームを移行する。

● 奏法ポイント ●

● 図1 F Δ 7



● 図2 A $\flat$ m(onE $\flat$)



Intro. Cm7 Dm7 Cm7 Dm7 Cm7 Dm7 Cm7 Dm7 CΔ7

h. s. p. h.

Fdim Gm7 Gm7(onC) C7 F Fm E7

h. p. h. p. ①

A7 FΔ7 A7 G7 Cm7 Dm7 to ① Cm7 Dm7 p. ② Cm7 Dm7 s.

Inter. ① ②

藥小小藥 圖1 藥藥藥 小藥 藥小小人 小小人 小小人

Fm7 B7 EΔ7 A7m(onE+) EΔ7 E7m A7

③ ④

DΔ7 Dm7(9) G7(25) Coda Cm7 Dm7 Cm7 Dm7 Cm7 Dm7 p. Cm7 Dm7 s.

D.S. ④

Cm7 Dm7 Cm7 Dm7 Cm7 Dm7 p. Cm7 Dm7 s. Cm7 Dm7 rit. CΔ7

小小 ⑤ ④